

スクリーウエイト貫入試験名称変更に伴う暫定対応について

はじめに

令和2年10月26日付で「JIS A 1221 スクリューウエイト貫入試験方法」が公示され、この規格において試験名称が「スウェーデン式サウンディング試験」から「スクリーウエイト貫入試験」に変更されました。

本変更に伴い、弊社提供アプリケーション「原位置-BASE/Win スウェーデン式サウンディング試験」の改訂方針として「(社)地盤工学会のデータシートあるいは電子納品要領の変更を待って対応する」としていましたが、非常に多くのユーザーさま等から早急な変更要望が寄せられていることから、以下に示す暫定対応を実施する事としました。

対応内容

(社)地盤工学会のデータシートあるいは電子納品要領の変更以前であることから、以下の暫定対応内容としました。

- ① Kiso-Cloud レンタル版について暫定対応を行う。
- ② アプリケーション名称を「原位置-BASE/Win スウェーデン式サウンディング試験」から「原位置-BASE/Win スクリューウエイト貫入試験」に変更する (Ver.6→Ver.7)。
- ③ 記録用紙・整理図のタイトルを「スクリーウエイト貫入試験」に変更する。
- ④ 出力シート 5641 のタイトルを「スクリーウエイト貫入試験」に変更すると共に、フッタを「5641 に準拠」に変更する。
- ⑤ 出力シート 7641 のタイトルを「スクリーウエイト貫入試験」に変更すると共に、フッタを「7641 に準拠」に変更する。
- ⑥ 「XML ファイル出力」機能において、要領 Ver.によらず<試験名称><規格番号>タグ内の内容を以下に変更する (DOCTYPE など DTD 関連情報は変更しない)。
<試験名称>スクリーウエイト貫入試験</試験名称>
<規格番号>JIS A 1221-2020</規格番号>
- ⑦ インストーラを改修し「原位置-BASE/Win スウェーデン式サウンディング試験 Ver.6」との共存インストールを可能とする。
- ⑧ 操作マニュアルの改訂は暫定対応では実施しない。

以上、宜しく申し上げます。